事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（Ａ、Ｂテナント等事業所用）　　A事業所(1)

令和 4 年度

事業者番号	2096	事業所番号	209600

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1　事業所の概要

（1）事業所種別

事業所種別	
A	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)

(2)事業所及び事業内容

代表事業所名	春日部中央総合病院	前年度における事業所数	8
代表事業所所在地	市区町村	春日部市	
	字・地番	緑町5-9-4	
当該事業所を含む事業所の名称（※Bテナント等の場合のみ記入）			
産業分類名（中分類）	83 医療業		
分類番号（中分類）	83		
事業活動の概要	病院　病院数：8　従業員数：3,836人　ベット数：1,985床		

2　事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

（1）第３計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	～	6	年度
削減目標 エネルギー起源CO_2（必須）	基準となる排出量	8,768	t-C02	基準となる原単位	t-C02/㎡
	第3計画期間は平成28～令和元年度の直近4ヶ年の平均排出量(8,768t-C02)を基準として、削減計画期間の平均排出量を2.5%削減することを目標とします。				
削減目標 その他ガス					

(2)第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	～	11	年度
削減目標 エネルギー起源CO_2（必須）	基準となる排出量		t-C02	基準となる原単位	
削減目標 その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所 在 地
1	春日部中央総合病院	春日部市緑町5-9-4
2	埼玉セントラル病院	埼玉県入間郡三芳町上富2177
3	イムス富士見総合病院	埼玉県富士見市鶴間1967-1
4	新越谷病院	埼玉県越谷市元柳田町6-45
5	春日部ロイヤルケアセンター	埼玉県春日部市藤塚2622-2
6	草加ロイヤルケアセンター	埼玉県草加市柿木町123-2
7	埼玉ロイヤルケアセンター	埼玉県入間郡三芳町上富2181-5
8	イムスケアふじみの	埼玉県ふじみ野市鶴ヶ岡5-6-58
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※　入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本産業規格Ａ列４番

事業所番号	209600

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（Ａ、Ｂテナント等事業所用）　A事業所(2)

３　事業所の温室効果ガス排出量

（１）原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー使用量(kL)	計画期間				
	令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
	4,452	3,661	4,351		

（２）計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO_2換算（ｔ-CO_2）

		基準	計画期間				
			令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
エネルギー起源 CO_2		8,768	8,827	6,851	8,662		
	前年度比（％）		―	-22.4	26.4		
	基準となる排出量に対する削減率（％）		-0.7	21.9	1.2		
その他ガス	非エネルギー起源 CO2						
	メタン						
	一酸化二窒素						
	ハイドロフルオロカーボン						
	パーフルオロカーボン						
	六ふっ化いおう						
	三ふっ化窒素						
温室効果ガスの合計			8,827	6,851	8,662		

（３）計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO_2）

CO_2換算（ｔ-CO_2/指標）

		基準	計画期間				
			令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
エネルギー起源CO_2排出量原単位			0.1094	0.0849	0.1073		
	前年度比（％）		―	-22.4	26.4		
	基準となる原単位に対する削減率（％）						
活動規模の指標		単位	80,704.00	80,704.00	80,704.00		
床面積		m^2					

（４）エネルギー起源CO_2排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度 （2020年度）	・コロナ禍における窓開けの徹底を実施していく中で、空調機の出力増加に伴う電力消費の増加に繋がっていると考える。 ・ガスについては厨房機器の更新や増設等で設備投資により増加傾向にある。 ・照明のLED化・高効率空調機への更新による省エネや外来・入院患者の減少による消費減が減要素となっている。
令和３年度 （2021年度）	・コロナ禍における窓開けの徹底を実施していく中で、空調機の出力増加に伴う電力消費の増加に繋がっていると考える。 ・ガスについては厨房機器の更新や増設等で設備投資により増加傾向にある。 ・日々の削減行動については、空調機のフィルター清掃、照明をこまめに消す。 などを実行することで、効果が得られたと考えられる。 ・削減率効果について、照明のLED化、高効率モーターの更新による省エネや外来・入院患者の減少による消費減が減要素となったと考えられる。
令和４年度 （2022年度）	・コロナ感染が落ち着いたところで、入院患者数増のため、全体的にエネルギー増となったと考える。 ・夜間電気使用量については、入院患者数増による増加となった。 ・ガスについても入院患者増により厨房での食事量が増えたため、使用量が増えた。 ・照明のLED化・高効率空調機への更新による省エネ・消費減が減要素となっている。
令和５年度 （2023年度）	
令和６年度 （2024年度）	

事業所番号	209600

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）　A事業所(4)

4　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

Ｎｏ	対策の区分 区分番号	区分名称 大区分	区分名称 中区分	対策概要	実施予定年度	実施した年度	推計削減量(t)（1年度当たり）
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	グループ内省エネルギー推進者会議(1回/3ヶ月)、省エネーパトロールの実施(1回/月)、省エネ勉強会(1回/3月)	R1以前	R1以前	
2	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	各病院毎に省エネチェックシートを作成し、本部に集計・状況を把握する。年度毎に省エネ優秀施設を表彰	R1以前	R1以前	
3	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	管理標準において、夏季:外来・病室26℃、スタッフエリア27℃、冬季:外来・病室22℃、スタッフエリア21℃に設定	R1以前	R1以前	
4	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	夏季及び冬季に、熱負荷損失軽減のために、外調機の外気導入量を制限または、間欠運 転を行う。	R1以前	R1以前	
5	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	中間期に冷房負荷を軽減するために、熱源装置を停止のまま外調機を運転し直接温度の低い外気を室内に送風し冷房効果を得る。以降継続実施	R1以前	R1以前	
6	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	患者等の出入りの多い外来の外調機を停止し、外気負荷を抑える。継続実施	R1以前	R1以前	
7	130300	空気調和設備・換気設備	13_換気設備の運転管理	稼働時間・在室人員を考慮したスケジュールと排気量の調整　継続実施	R1以前	R1以前	
8	140100	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給湯設備の管理	給湯設備の夜間停止、夏季の洗面器への給湯停止または、電気温水器の停止	R1以前	R1以前	
9	150100	受変電設備、照明設備、電気設備	15_受変電設備の管理	デマンド監視装置または、デマンド制御装置によるデマンド管理　継続実施	R1以前	R1以前	
10	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	14時間以上点灯の照明のLED照明へ取り換えによる電気負荷の軽減。31年度までに60％まで取り換えを進める	R1以前	R1以前	
11	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	トイレ・更衣室・汚物室・給湯室・リネン庫等の照明器具のセンサーによる点滅とする	R1以前	R1以前	
12	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	休日・夜間のEVの間引き運転	R1以前	R1以前	
13	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	建物出入り口の自動扉の通過後の閉時間を短く調整	R1以前	R1以前	
14	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	総務課など休憩時間帯減灯できる箇所は実行する	R1以前	R1以前	
15	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	空調熱源の効率化による容量の見直し(機器入替え150HP⇒120HP)	R1以前	R1以前	

事業所番号	209600

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（Ａ、Ｂテナント等事業所用）　A事業所(5)

５　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

Ａ事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

実施した対策内容及び対策実施状況に関する自己評価

①IMSグループ標準の省エネルギーパトロール　・・・　各施設ごと　月1回実施
　省エネルギー、エネルギー利用の安全性向上、利用者の意識統一を着実に実施

②抑制対策継続実施　・・・　表記した実施年度だけで終わらず、それを標準として継続実施